

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	農村地域防災減災事業												
事業担当	所属	産業政策部 農政課				所属長	西畑 信寿						
会計情報	事業コード	550161	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	174	頁
施策体系	施策コード	040102		施策名	治山・治水対策を強化する								
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策					
根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (府営事業)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月豪雨災害に伴い、由良川治水対策協議会が国、府、市連携で立ち上げられ、その計画に基づき、法川及び弘法川流域の農業用ため池6池に洪水調整機能を付与する改修を実施することにより、下流域の住民の安心・安全な生活を確保することを目的とする。								
対象者	全市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (負担金支出)								
委託先・実施主体等	京都府、(株)高見組、(株)富士興業								
事業概要 (箇条書き)	由良川治水対策において、法川及び弘法川流域の農業用ため池6池に洪水調整機能を付与するための改修工事等を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	23,216	福知山(その1)、福知山(その2)改修工事にかかる負担金						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	30,087	22,638	330	330				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	15,719	0	0	0				
	前年度繰越	15,719	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	45,806	22,638	330	330					
予算財源内訳	① 一般財源	5,019	0	330	130				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	39,200	21,500	0	200				
	⑤ その他特財	1,587	1,138	0	0				
決算情報	① 流充用額	222	578	0	0				
	② 配当予算	46,028	23,216	0	0				
	③ 執行額	35,772	23,216	0	0				
	④ 執行率	77.7%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/専任職員)	0.38 / 0.00	0.35 / 0.00	0.35 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,040	2,800	2,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	38,812	26,016	2,800						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	農村地域防災減災事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	16	決算付属資料	40	頁
	特財名称	農村地域防災減災事業(防災・減災・国土強靱化緊急対策)	種類	農林業債	実績金額	23,200	決算付属資料	50	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備完了箇所数	箇所	0/0	2/6	3 / 6	/ 6	6		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備実施箇所数	箇所	6/6	6/6	6 / 6	/ 6	-		
	単位あたりコスト		3066.83	5962.00	3869.33				
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成26年8月豪雨災害により甚大な被害が発生しており、農業用ため池のみならず、河川改修や排水機場の整備など包括的な改修が必要であるため、優先度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	当該事業によるため池改修工事は、由良川流域における総合的な治水対策において市管理河川の改修や排水機場の整備など一体的な工事が必要とされるため、受益者負担を伴わないものとなっている。また、ため池容量調査については、関係課と連携を図り、効率化を図った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	対象となる農業用ため池に洪水調整機能を付与することにより、下流域の住民の安心・安全を図ることができるため、有効性は高い。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	府営事業において、入札不調が相次ぎ工事着手に遅延が生じたため、年次計画の変更が生じた。		
これまでの課題及び今後の方向性	入札不調が相次ぎ、工事完了時期に遅延が生じたが、府営事業に対し負担金を支出し、早期完成をめざす。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中事業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	国・府・市が策定した「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策について」に基づき、京都府と連携しながら農業用ため池6池の改修工事を実施し、令和3年度から全池の治水機能が発現する予定であるが、付帯工事が一部未完了となるため、未完了部分の工事について実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	市営林管理事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210123	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	68	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市有林の専門家の意見を取り入れた経営方針の作成を行い、それぞれの市有林の今後のあり方を検討していく。このあり方により財産である市有林の有効な活用を図る。また頻発している山林の土砂流出を防止する観点で、市有林の間伐を行う。 緑のオーナーに対する情報発信を目的に、オーナーとの交流を図る												
対象者	緑のオーナー	対象者数	97	単位あたりコスト	45.8								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合												
事業概要 (箇条書き)	・市有林の今後の在り方を検討するための、基礎資料となる調査を行った。 ・市営林の間伐を業務委託により行った。 市民参加による森づくりを推進するため、大江町北原の市有林10.4ha(おもいで森)を対象とした分収事業を行っている。 現在緑のオーナー97人と契約締結し、令和5年度末には入札により立木を売却し、利益を緑のオーナーと按分する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	役員費		6 緑のオーナー通信送付に係る郵送料										
	委託料	3,718	市営林経営方針のための基礎調査業務、市営林間伐業務										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	5,041	6,698	10,936				
	② 補正予算	0	△ 1,280	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	0	3,761	6,698	10,936					
予算財源内訳	① 一般財源	0	3,720	6,373	10,832				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	41	325	104				
決算情報	① 流充用額	0	△ 37	0	0				
	② 配当予算	0	3,724	0	0				
	③ 執行額	0	3,724	0	0				
	④ 執行率		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0/0	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	720	720	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,444	720						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	おもいで森づくり事業基金繰入金	種類	基金繰入金	実績金額	6	決算付属資料	38	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	オーナーへの情報発信	人	0	0	96 / 97	/ 97	97
森林整備面積(市全体)	ha	/	/	266 / 565	/ 587	587	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	情報誌送付回数	回	0	0	1 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		0.00	0.00	3724.46		
	森林整備面積	ha	/	/	10.32 / 10	/ 16	50
単位あたりコスト		0.00	0.00	360.90			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>市の財産である市有林を適正に管理するため必要である。</p> <p>また、緑のオーナーについては、平成6年度に大江町が締結している契約を履行するために必要である。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 市営林であるため、市が行う 適正な歩掛により積算の上、入札により業者を選定し、本数調整伐を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標は市全体の間伐面積として把握している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>平成31年度から施行された森林環境譲与税を活用し、市の財産である市有林の今後の在り方を決定するための、基礎資料となる調査を行う。この調査は令和2年度にかけて行う予定をしている。</p> <p>また森林環境譲与税を活用し、市有林の本数調整伐を実施することにより、防災面に寄与し市有林の適正な管理を行うことが出来た。</p> <p>緑のオーナーに対しては、現状を情報発信することで契約満期に向けて必要な情報を発信することが出来た。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>木材価格が下落傾向の今、市有林の今後の在り方を検討する必要があるため、調査結果を用い、令和3年度以降に市営林の在り方を決定する予定をしている。</p> <p>国の中でも防災面において、森林整備が喫緊の課題とされているため、今後も市有林の適正な管理を目指す必要があると考えられるが、木材として成長を目指すか針広混交林化を目指すべきかの検討が必要である。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>これまでの調査結果を用い、私有林の在り方を決定する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	林地保全事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210120	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	-		終了予定年度	令和元年度		関連計画名						
根拠法令等	福知山市林地保全事業補助金交付要綱												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	台風・豪雨により被災した人家裏林地の崩壊箇所内の、国・府の補助採択を満たさない規模のもので、民地等に直接被害を及ぼしている林地について、関係住民の安心と安全な生活を守るため、市単独事業により地元自治会の復旧対策工事を支援する。								
対象者	被災自治会	対象者数	19	単位あたりコスト	195.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	林地崩壊のあった自治会								
事業概要 (箇条書き)	平成30年7月豪雨災害により崩壊した、個人住宅等に隣接する林地で、人命・財産等に直接被害を及ぼす恐れのある箇所について、再発防止工事を直接実施した自治会に対し、その工事費の1/2を支援した。(補助上限額 1,000千円) 19地区中5地区(繰越し分)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	3,705	人家等の裏山における土砂流出防止等の工事に対する補助金交付						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0			
	② 補正予算	20,000	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	9,266	5,000	0	0	0			
	前年度繰越	14,266	5,000	0	0	0			
	次年度繰越	△ 5,000	0	0	0	0			
小計(①~③)	29,266	5,000	0	0	0	0			
予算財源内訳	① 一般財源	29,266	5,000	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0			
	② 配当予算	29,266	5,000	0	0	0			
	③ 執行額	16,425	3,705	0	0	0			
	④ 執行率	56.1%	74.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.35/0	/	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,800	0	0	0	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	19,225	3,705	0	0	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	補助金交付自治会	地区	1 / 10	14/19(内5件繰越)	5 / 5	/	
		単位あたりコスト	734.00	912.50	740.94		
		単位あたりコスト	0.00	0.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成30年7月豪雨により発生した人家裏林地崩壊箇所の復旧工事でありニーズは高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	国・府の補助事業の対象とならない復旧工事で、自治会が1/2負担しており妥当な事業である
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧のため成果指標の設定は困難であるため、定性的評価とする。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>「定性的評価」 住民の安心・安全な生活を守るため、自治会との連携により事業を実施した。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>近年台風や豪雨等による林地被害が多く発生しており、1/2の負担があるため自治会の負担が大きくなっている。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	災害に強い森づくり事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課				所属長	小西 晴之						
会計情報	事業コード	550319	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	040102		施策名	治山・治水対策を強化する								
計画期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府委託事業)												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	台風等により保全機能が低下した森林において、森林荒廃の拡大、土砂等の流出による再度被害を防止するため治山施設を設置する。								
対象者	保全対象戸数	対象者数		6		単位あたりコスト	11,382.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	森下建設株式会社、株式会社いとう								
事業概要 (箇条書き)	・平成29年1月からの豪雪により被害を受けた河守地区の山腹の復旧工事を実施した。(繰越工事) (現年分の河守地区山腹の復旧工事は入札不調により繰越) ・平成30年7月豪雨により被害を受けた波江地区の山腹の復旧工事を実施した。(繰越工事)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	34	公用車ガソリン代ほか						
	委託料	2,505	波江地区測量設計業務						
	工事請負費	63,437	河守地区治山工事、波江地区治山工事						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	40,000	0	35,000	35,000						
	② 補正予算	26,000	4,000	0	0						
	③ 繰越予算	△ 23,348	61,975	4,000	0						
	前年度繰越	42,627	65,975	4,000	0						
	次年度繰越	△ 65,975	△ 4,000	0	0						
小計(①~③)	42,652	65,975	39,000	35,000							
予算財源内訳	① 一般財源	△ 1,848	△ 25	0	0						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	44,500	66,000	39,000	35,000						
	④ 地方債	0	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0						
	② 配当予算	42,652	65,975	0	0						
	③ 執行額	42,652	65,975	0	0						
	④ 執行率	100.0%	100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25/0	0.29 / 0.00	0.29 / 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	② 概算人件費	2,000	2,320	2,320	0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	44,652	68,295	2,320								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	災害に強い森づくり事業委託金(繰越分)		種類	農林業費府委託金		実績金額	66,000	決算付属資料	32	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備地区数	地区	0/2	2/3	2 / 3	/ 1			
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	整備地区数	地区	0/2	2/3	2 / 3	/ 1			
	単位あたりコスト			21326.00	32987.58				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	平成29年に発生した豪雪及び豪雨により被災した、民家裏の山林復旧事業であり、ニーズは高い複数の土地に影響する事業であるので、市民自らが実施することは困難である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	京都府から委託を受けた治山事業であるため、受益者負担は発生しない。コスト削減については、京都府と調整し、十分配慮している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧であり成果指標の設定は困難であるため、定性的評価とする。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>「定性的評価」 事業を実施することで、地域住民の安心・安全な生活を確保した。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>本事業の実施が必要な箇所があるため、関係自治会と調整の上、京都府に対し事業採択の要望を継続する必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 京都府からの委託事業であり、山腹崩壊等復旧が必要な箇所を順次施工する。 平成30年7月豪雨により被災した箇所について、現在5箇所要望している。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	林道施設災害復旧事業												
事業担当	所属	産業政策部 農林業振興課					所属長	小西 晴之					
会計情報	事業コード	210179	款	11 災害復旧費	項	02 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	258	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	台風・豪雨等により被災した林道施設を復旧する。								
対象者	被災路線	対象者数	23	単位あたりコスト	4,097.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	中丹住工株式会社ほか								
事業概要 (箇条書き)	平成30年7月豪雨及び台風21号豪雨により発生した林道施設の災害復旧を実施した。(繰越16路線33箇所中8路線14箇所完成) (現年7路線10箇所中1路線1箇所完成) 他工事との工程調整や入札不調があった路線については繰越をした。 (特定財源(N-1年度分)) ・林道施設災害復旧 府補助金 53,904,000円(繰越分:47,813,000円、現年分:6,091,000円) ・林道施設災害復旧 地元分担金 1,365,616円(繰越分:1,341,130円、現年分:24,486円) ・林道施設災害復旧 災害復旧債 1,600,000円(過年:100,000円、繰越分:1,500,000円)								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費、役務費	17	会議出席のための職員旅費、郵送料						
	需用費	329	公用車ガソリン代ほか						
	使用料及び賃借料	328	デジタル複合機賃借料						
	工事請負費(繰越分)	79,829	河谷線災害復旧工事ほか						
工事請負費(現年分)	6,366	滝谷線災害復旧工事ほか							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	12,100	0	0				
	② 補正予算	378,827	47,340	0	0				
	③ 繰越予算	△ 182,271	68,477	172,122	0				
	前年度繰越	58,328	240,599	172,122	0				
次年度繰越	△ 240,599	△ 172,122	0	0					
小計(①~③)	196,556	127,917	172,122	0					
予算財源内訳	① 一般財源	3,649	62,845	7,114	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	125,270	55,787	159,979	0				
	④ 地方債	57,700	7,000	900	0				
	⑤ その他特財	9,937	2,285	4,129	0				
決算情報	① 流充用額	△ 2,909	0	0	0				
	② 配当予算	135,320	127,917	0	0				
	③ 執行額	112,067	86,870	0	0				
	④ 執行率	82.8%	67.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.9/0.1	0.92 / 0.00	0.92 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,450	7,360	7,360	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	119,517	94,230	7,360						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	林道施設災害復旧事業(現年・繰越)	種類	災害復旧費府補助金	実績金額	53,904	決算付属資料	30	頁
	特財名称	林道施設災害復旧事業(現年・繰越)	種類	農林業費分担金	実績金額	1,365	決算付属資料	8	頁
	特財名称	林道施設災害復旧事業(現年・繰越)	種類	災害復旧債	実績金額	1,600	決算付属資料	54	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	整備路線工事完成	路線	6/9	3/25(うち3路線は繰越分)	12 / 23	/ / 23	23
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	整備路線設計数	路線	9/9	22/22	23 / 23	/ /	
	単位あたりコスト			5093.95	3776.95		
	整備路線工事発注数	路線	7/9	4/24(うち2路線は繰越分)	23 / 23	/ /	
単位あたりコスト				28016.75	3776.95		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	被災した林道施設の復旧工事でニーズは高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	コスト削減などについては、京都府と調整し、十分配慮している
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧であり、成果指標の設定が困難であるため、定性的評価とする。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	「定性的評価」 完成した路線について、安全な通行を確保した。また、繰越した路線について早期完成を目指す。		
これまでの課題及び今後の方向性	早期に復旧工事を完了する必要があるため、適切な進捗管理を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	総合的な治水対策PR事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	荒木 正人						
会計情報	事業コード	550330	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	190	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	令和1年度		終了予定年度	令和1年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月豪雨を受け、国・府・市で連携して治水対策を行う「福知山市街地における総合的な治水対策」の目標年度であるため、成果を現場見学会やシンポジウムにより市の内外にPRする。 安心安全のまちをPRすることにより、定住人口の増加、商業施設の誘致、並びに観光振興等を図る。								
対象者	全市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	○現地見学会やシンポジウムにニュースソースが高まるような高名な講師を招聘する。 ○市内外への効果的なPRが期待できるメディアを招致する。 ○見学会やシンポジウムがメディアに取り扱われやすくするためのアドバイスを受ける。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	20	シンポジウム関連打ち合わせ等						
	需用費	360	シンポジウムチラシ印刷、消毒液購入等						
	役務費	160	広告料						
	使用料及び賃借料	6	高速道路通行料						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	1,000		0		0		0		
	② 補正予算	0	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0	0		0		0		0		
	前年度繰越	0	0		0		0		0		
	次年度繰越	0	0		0		0		0		
小計(①~③)	0	1,000		0		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0	500		0		0		0		
	② 国支出金	0	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0	500		0		0		0		
	④ 地方債	0	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0	0		0		0		0		
	② 配当予算	0	1,000		0		0		0		
	③ 執行額	0	547		0		0		0		
	④ 執行率		54.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員・兼任職員)	0/0	0.20	/	0.00	/	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	0	1,600		0		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	2,147		0		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金		種類	土木費府補助金		実績金額	254	決算付属資料	28	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	治水シンポジウムへの市外からの来場者数	人			0 / 300	/ -	-		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	現地見学会、シンポジウムの回数	回			0 / 1	/ -	-		
	単位あたりコスト				/	/			
	単位あたりコスト				/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	直近5年間で4回の甚大な浸水被害があり、「災害のまち」という負のイメージからの脱却をどのようにPRできるかは多くの市民から注目されている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	効果的なPR方法についての業務について、イベントや企画については職員で検討するなどコスト削減に努めた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	新型コロナウイルスの発生を受け、令和2年度の秋以降まで延期する決断となったが、メディアに特化したイベントの企画等、今後の参考になることもあった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	治水効果の向上による安心・安全なまちを市内外へPRすることが目的で開催直前まで進めたが、新型コロナウイルスの発生により、市民に対して新たな感染拡大を懸念し延期を余儀なくした。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年の秋以降に、再度、治水と防災を絡めた大規模なシンポジウムを開催する予定であり、関係部局と密に調整をする中で取り組む必要がある。 (令和2年度から由良川改修関連事業へ統合)		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和2年度より由良川改修関連事業に統合。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	持原池管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	550305	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
施策体系	施策コード	040102		施策名	治山・治水対策を強化する								
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	農業用ため池「持原池」について、地元と管理協定を結び洪水調整池として使用し、市街地の安全確保を図る。								
対象者	河川流域住民、市民		対象者数	12,128		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等								
事業概要 (簡条書き)	○持原池管理協定書に基づき、持原池使用料を篠尾農区及び厚自治会に支払う。 ○洪水調整池としての維持管理(除草業務)を行なう。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	使用料及び賃借料	50		持原池使用料					

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	266		266		266		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)	266		266		266		0			
予算財源内訳	① 一般財源	266		266		266		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 216		0		0		
	② 配当予算	266		50		0		0		
	③ 執行額	266		50		0		0		
	④ 執行率	100.0%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/専任職員)	0.05/0		0.10 / 0.00		0.10 / 0.00		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	400		800		800		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	666		850		800					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額	決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	管理回数(除草実施)	回	1/1	1/1	0 / 1	/ 1	1		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	管理回数(除草実施)	回	1/1	1/1	0 / 1	/ 1	1		
	単位あたりコスト		266.00	266.00	/	/			
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・西川流域の市街地整備に伴い、持原池を洪水調整池として使用することは、洪水調整機能を正常に維持するうえで必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・持原池管理協定書に基づき、持原池権利者である地元農区及び自治会と、持原池の使用及び管理を行なっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・市街地の浸水を防止し、市民の安全を守るためには有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>・治水対策として、持原池を洪水調整池として使用するにあたり、農業用水の円滑な利用を図りつつ、洪水調整機能を正常に維持していくことで、市街地の浸水防止を図り、市民の安心を守ることができる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>R2年度以降、調整池維持管理事業として市全体の調整池を管理していく予定である。持原池は地元で管理を依頼しているのに対し、他の調整池は直営で管理することから、現時点では別事業としているが、今後、事業の統合も含め方針を検討する。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 河川維持管理事業)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	河川維持管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	550317	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194・196	頁
施策体系	施策コード	040102		施策名	治山・治水対策を強化する								
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	河川を適正に管理し、周辺環境の保全をはかるとともに、出水時の被災を未然に防止し市民生活の安全性の向上をはかる。								
対象者	市民、特に河川流域住民		対象者数	78,000		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等								
事業概要 (箇条書き)	○市管理河川の維持管理経費。市全域で管理する380の河川を適正に管理し健全性を保つために、河川護岸及び河床などの損壊箇所の補修を行なう。 ○河川内に堆積している土砂の浚渫を行ない、流下能力を確保し、災害防止を図る。 ○河川への流入を抑止するため、調節池の管理を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)		主な業務内容					
	役員費	898		西谷川土砂浚渫・撤去業務					

III 予算執行状況												
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,300		1,200		9,450		59,702				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①~③)	2,300		1,200		9,450		59,702					
予算財源内訳	① 一般財源	2,115		902		9,115		19,334				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		40,000				
	⑤ その他特財	185		298		335		362				
決算情報	① 流充用額	△ 1,188		△ 302		0		0				
	② 配当予算	1,112		898		0		0				
	③ 執行額	822		898		0		0				
	④ 執行率	74.0%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.07/0		0.09 / 0.00		0.09 / 0.00		0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	560		720		720		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,382		1,618		720							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	準用河川占用料		種類	土木使用料		実績金額	368		決算付属資料	12	頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	浚渫河川数	河川	2 / 3	3 / 3	1 / 1	/ 5	380		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	浚渫業務	件	2 / 3	4 / 4	3 / 3	/ 5	380		
	単位あたりコスト		2357.50	0.00	299.20	/			
	単位あたりコスト		/	/	/	/			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・出水時の被災を軽減し、河川流域住民の安心・安全を守るために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・安心・安全な河川環境の確保のため、コスト削減を意識しながら適正に維持管理するよう努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・河川の流下能力の確保により災害防止効果を高め安全性を向上させることは、河川周辺の生活環境の向上に繋がり、市民生活の安全性の向上の観点からも有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市内の河川を適正に維持管理し、流下能力を確保し、災害防止を図ることを目的としており、市民生活の安心安全を守るために事業実施している。		
これまでの課題及び今後の方向性	市管理管理河川は380河川、全体の延長が約371kmあり範囲が広範囲にわたっている。そのほとんどが河川法が適用されない普通河川で、交付金、補助金の対象とならないため河川占用料など限られた財源で、維持管理を実施している。このことから、すべての要望を実施することは困難であるが、未然に災害を防止するために、河川浚渫や緊急的な修繕等を効果的・効率的に実施していきたいと考えている。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度から持原池管理事業を統合。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: 持原池管理事業) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	急傾斜地崩壊対策事業									
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	荒木 正人			
会計情報	事業コード	550318	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 196 頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する						
計画期間	開始年度	令和1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	地方財政法、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律、福知山市土木事業分担金徴収条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	急傾斜地の崩壊対策事業により、人家、避難所、避難路の災害からの被害を低減する。								
対象者	住家、避難所、避難道路	対象者数	237	単位あたりコスト	15.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	○京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対し市が負担金を支払い、地元自治会が市の負担金額の2分の1を地元分金として負担している。 ○令和元年度は、三河、西岡(北岡)が事業箇所となっている。 【根拠法令】 急傾斜地の崩壊による災害防止に関する法律(急傾斜地法) 福知山市公共土木事業分担金徴収条例第4条に基づく急傾斜地崩壊対策事業及び災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業に係る分担金規定								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	急傾斜地崩壊対策事業負担金	1,600	全体事業費の5%、20%を負担						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)		R1(評価年度)			R2(本年度)		R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 補正予算	5,500	1,600	0	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	0
小計(①~③)	5,500	1,600	0	0	0	0	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	2,750	500	0	0	0	0	0	0
	② 国支出金		0	0	0	0	0	0	0
	③ 府支出金		0	0	0	0	0	0	0
	④ 地方債		600	0	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	2,750	500	0	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	0	1,600	0	0	0	0	0	0
	③ 執行額	5,500	1,600	0	0	0	0	0	0
	④ 執行率	100%	100%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.25 / 0.00	0.25 / 0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	② 概算人件費	2,000	2,000	2,000	0	0	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,006	3,600	2,000	0	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	急傾斜地崩壊対策事業地元分担金	種類	土木費分担金	実績金額	500	決算付属資料	8	頁
	特財名称	緊急自然災害防止対策債	種類	土木債	実績金額	600	決算付属資料	52	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業実施後の土砂崩れによる家屋被害発生件数	件	0	0	0	/ 0	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	事業箇所	数	3	2	2	/ 2	0		
	単位あたりコスト		0.00	0.00	800.00				
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・急傾斜地崩壊対策事業を行われることにより、急傾斜地の崩壊による災害から、市民の生命、財産を保護する
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地崩壊対策に係る分担金については、市、地元で半分ずつ負担している。 ・京都府による施工により、効率的かつ速やかに事業が行われている。 ・京都府と地元の間に福知山市が入り調整することで円滑な事業進捗が図られている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・京都府による施工により、有効的かつ着実に事業が進められている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度末をもって、下小田急傾斜地崩壊対策事業が終了し、現在、2箇所(三河、西岡(北岡))の対策が行われている。 ・対策工事が完成すれば、現在、事業箇所となっている、府道二俣三河線、住家などの対象が保全されることになる。 ・現在、三河の一部の急傾斜地指定協議が終了し、事業が進捗している。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>少子高齢化、人口減少などにより国や府の財政も厳しくなる見込みである。 福知山市の財源のみで急傾斜地事業を行える事は難しく、国や京都府に対して、今後とも予算確保につとめて頂く様に要望して行きたい。 対策が必要な避難所、避難路、人家が多数あるが、事業を行うにあたっての採択基準は決まっており、事業化する箇所は限られている。 今後については、対策が必要な箇所について、他の事業も含め、事業採択基準に適合するかどうか検討していく。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中山業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	由良川水系樋門等施設管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課					所属長	荒木 正人					
会計情報	事業コード	550382	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
施策体系	施策コード	040102		施策名	治山・治水対策を強化する								
計画期間	開始年度	平成1年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名						
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	由良川など河川に設置された河川管理施設(樋門)を委託により適正に維持管理し、由良川水位上昇時には樋門操作を行い、由良川本川からの逆流による家屋の浸水被害を低減することで、市民の安心・安全に寄与する。								
対象者	全市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	自治会長・樋門操作員								
事業概要 (箇条書き)	○由良川本川の水位上昇の際、樋門操作員により外水位・内水位等を定期的に観測、および樋門操作により逆流を防ぐことを目的とする。 ○平常時は樋門操作員による平常点行い(5月～10月は2回/月、それ以外は1回/月)、樋門施設の良好な維持管理に務める。 ○市内全体で29施設(由良川12箇所、京都府管理河川17箇所)を管理する。								
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	1,064	樋門維持管理用消耗品購入費、修繕費、電気代ほか						
	役務費	943	損害保険料						
	委託料	10,143	樋門管理業務委託料						
	工事請負費	1,202	安井谷川災害復旧工事						
備品購入費	981	樋門管理施設用備品(ベッド、エアコン等)購入費							

III 予算執行状況													
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	13,509	14,004		17,566		0						
	② 補正予算	4,901	0		0		0						
	③ 繰越予算	0	0		0		0						
	前年度繰越	0	0		0		0						
	次年度繰越	0	0		0		0						
小計(①～③)	18,410	14,004		17,566		0							
予算財源内訳	① 一般財源	12,332	7,828		10,829		0						
	② 国支出金	0	0		0		0						
	③ 府支出金	6,078	6,176		6,737		0						
	④ 地方債	0	0		0		0						
	⑤ その他特財	0	0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 762	451		0		0						
	② 配当予算	17,648	14,455		0		0						
	③ 執行額	17,231	14,334		0		0						
	④ 執行率	97.6%	99.2%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.41/0	0.39	/	0.00	0.39	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	3,280	3,120		3,120		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,511	17,454		3,120									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	河川費委託金		種類	土木費府委託金		実績金額	5,666		決算付属資料	32		頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁
	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	由良川本川逆流被害発生件数	件	0/0	0/0	0 / 0		/ 0		0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1		R2		最終目標
	樋門・樋管実操作出動回数	回	6/0	7/0	1 / 0		/ -		-
	単位あたりコスト		2276.17	2461.57	14334.11				
	単位あたりコスト		/	/	/		/		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	樋門操作を行うことで由良川本川からの逆流を防ぎ、外水被害の軽減を図る事業である。治水効果を挙げるためには不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	由良川および支川を合わせて29箇所樋門を地元自治会等協力の上で管理している。安全性を重視しながらも毎年ではなく3年に1度の点検を行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	樋門操作を実施することで由良川水位上昇による支川への逆流をふさぐことを目的としており、治水対策の進捗により操作・発生件数ともに減少していくことを期待している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平常時から河川管理施設(樋門)を良好に管理しており、洪水時には由良川水位の上昇に合わせた基準により樋門操作員に待機・出動・操作を指示し、的確な樋門操作により由良川本川からの逆流を防止している。		
これまでの課題及び今後の方向性	樋門操作員の高齢化が問題となってくる中で、今後の樋門管理体制について国土交通省や専門家の意見も聞きながら検討していく必要がある。樋門の点検(業務委託)を3年に1度実施しているが、経年劣化等により補修が必要になってくる中で、長寿命化計画により計画的、効果的に対応する必要がある。樋門管理業務の業務委託と契約事務の一本化が課題となっている。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度より排水機場・樋門管理事業(550391)に統合する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 排水機場・樋門管理事業)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性							
事業名	由良川改修関連事業						
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課			所属長	荒木 正人	
会計情報	事業コード	550390	款	08 土木費	項	03 河川費	
				目	01 河川総務費	会計	01 一般会計
						決算付属資料	196
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する			
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名		
根拠法令等	由良川河川整備計画						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合						
関連事業							

II 事業基礎情報			
事業目的 (あるべき姿)	由良川治水促進同盟会等により要望活動を実施することで、由良川緊急治水対策を含む由良川改修事業の促進が図られ、沿川住民の安全・安心に寄与する。 国及び関係機関と地元との調整を行うことで由良川改修事業の促進を図る。 由良川の環境保全等に関し国土交通省をはじめ関係機関並びに地元との調整をおこない、市民の防災意識の向上に努める。		
対象者	福知山市民	対象者数	78,000
		単位あたりコスト	0.2
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先・実施主体等			
事業概要 (箇条書き)	○由良川改修にかかる着実な予算確保を目的に、由良川沿川5市1町で構成する由良川治水促進同盟会による要望活動の展開や関係団体の活動に参加する。 ○由良川改修事業の円滑な進捗のため、関係部署や地元自治会、地権者との協議・調整を行う。 ○由良川の良好な環境保全や取り組み等について活動や支援を行う。		
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	報償費	50	堤防愛護会清掃謝礼
	旅費	785	要望活動、各種会議出席、各種研修・講習会参加
	需用費	282	公用車燃料費、消耗品等購入
	役員費	243	電話料、郵送料、ごみ廃棄手数料ほか
	負担金補助及び交付金ほか	421	由良川治水促進同盟会年会費ほか

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,966	2,708	2,817	2,044				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,966	2,708	2,817	2,044					
予算財源内訳	① 一般財源	2,570	1,861	2,667	2,044				
	② 国支出金	1,396	847	0	0				
	③ 府支出金	0	0	150	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	142	△ 451	0	0				
	② 配当予算	4,108	2,258	0	0				
	③ 執行額	4,098	1,780	0	0				
	④ 執行率	99.8%	78.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	1.78/0	2.21 / 0.00	2.21 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	14,240	17,680	17,680	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,338	19,460	17,680						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	河川費委託金	種類	土木費国庫委託金	実績金額	3,508	決算付属資料	22	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	緊急治水対策における堤防整備率	%	44 / 40	68 / 60	85/80	/100	100
	緊急治水対策における宅地嵩上げ契約数	戸	34 / 30	67 / 65	91/91	/91	91
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	同盟会活動回数	回	12 / 10	12 / 11	11 / 11	/11	11
	単位あたりコスト		290.00	341.60	161.79		
	単位あたりコスト					/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 5年間で4回の浸水被害があり、治水事業の促進は市民のニーズが非常に高い。 由良川治水促進同盟会は、沿川5市1町の首長で組織して活動している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 会費は会員市町で公平に負担している。 他の同盟会と要望活動の日程を合わせ旅費の削減、効率的な出張を行っている。 国と地元の間で福知山市が入り調整することで円滑な事業進捗が図られ、地元要望を踏まえた工事が実施されている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 要望活動を実施することで、緊急治水対策をはじめとする治水事業の予算確保が保たれており、着実に事業が進んでいる。 連続堤防、輪中堤、宅地嵩上げ着実に進んでおり、いずれもできるだけ早い時期での完成を目指している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	築堤、宅地嵩上げ等の治水対策実施エリアにおいては、由良川本川からの浸水を防ぐ事ができたと考える。中流部では連続堤防、河道掘削等、下流部では輪中堤、宅地嵩上げの緊急治水対策が鋭意実施された。		
これまでの課題及び今後の方向性	公共事業予算が益々厳しくなる中で、早期に治水対策を完成するため、関係機関や地元自治会等との調整を今後も綿密に行う必要がある。国の財政は厳しくなる見込みであり、また、近年の災害は全国的に激甚化しており治水対策の推進には公共事業費を確保しなければならない。引き続き要望活動を展開し、由良川改修の更なる促進を図る必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和2年度より総合的な治水PR事業(550330)を統合。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	排水機場・樋門管理事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	荒木 正人						
会計情報	事業コード	550391	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	196	頁
施策体系	施策コード	040102	施策名	治山・治水対策を強化する									
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国土交通省の委託を受け、荒河・法川の排水機場の平常時の維持管理及び由良川増水時の機場運転・操作を行う。国・府・市・地元が連携して治水対策に取り組むことで、河川流域住民、市民の安心安全な生活を守る。												
対象者	河川流域住民、市民	対象者数	18,558	単位あたりコスト	0.9								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	地元住民												
事業概要 (箇条書き)	○国土交通省から委託を受けている排水機場(法川・荒河)に嘱託職員を各2名配置し、運転・操作業務等を行う。由良川増水時には、各排水機場ごとに、嘱託職員1名、部内職員2名の計3名で法川・荒河排水機場の樋門の開閉及び排水ポンプの運転・操作などを行う。 ○台風などの豪雨の影響で由良川が増水し支流への逆流の恐れがある場合に、樋門の操作を行ない河川流域住民の安心・安全な生活を守る。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	需用費	11	私有車公務使用燃料代										
	委託料	711	弘法川樋門管理業務委託										
	負担金補助及び交付金	31	法川排水機場への職員出務に係る負担金										

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,993	1,225	1,284	17,972				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,993	1,225	1,284	17,972					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	11,118				
	② 国支出金	1,195	1,225	1,284	0				
	③ 府支出金	798	0	0	6,776				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	78				
決算情報	① 流充用額	1,188	0	0	0				
	② 配当予算	3,181	1,225	0	0				
	③ 執行額	3,181	753	0	0				
	④ 執行率	100.0%	61.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・専任職員)	0.42/4	0.66 / 4.00	0.66 / 4.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	13,360	15,280	15,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,541	16,033	15,280						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	河川費委託金	種類	土木費国庫委託金	実績金額	12,848	決算付属資料	22	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	平常時点検(各施設)	回	72/72	72/72	72 / 72	/ 70	54
	単位あたりコスト			44.18	10.45		
	排水機場出動時間(延べ)	時間	1,402/1,000	842/1,000	105 / 1000	/ -	-
単位あたりコスト		2.08	3.78	0.00			

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 近年、とくにここ数年において台風や集中豪雨等による自然災害が発生しており、有事に備えて適切な体制、対策を講じることは必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 国庫委託金により排水機場及び樋門等について受託している。費用については公共工事設計労務単価を基準にしており、適正である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 国・府・市と地元が連携して治水対策に取り組んでいくことが、河川流域住民はもとより市民の安心安全な生活を守るうえで有効な事業である。

事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価

・由良川水系排水機場を平時から適切に維持管理し台風や豪雨による由良川の増水に備えておくとともに、有事の際には迅速かつ的確に機場の操作を行なうことで河川流域住民の安心安全な生活を守ることを目的としている。常駐の嘱託職員により出水期は2回/月、非出水期は1回/月、それぞれ欠かさず点検を実施している。点検の際には法川⇄荒河でそれぞれ職員が行き来し、異常の有無やよりよい運用方法について意見交換をしながら、有事に備えている。

・令和元年度については平成29年や平成30年のような大きな出水がなかったため、出勤時間が抑えられている。当該事業としては出勤がないこと＝大きな出水がないことが理想であり事業評価と活動実績が比例するものではないため、数値目標は設定しない。【定性的評価】

これまでの課題及び今後の方向性

・近年は、台風や集中豪雨などにより自然災害が頻繁に発生しており、洪水警戒態勢になると出勤状況が長期化し地元操作員の出勤時間も長期化することとなり、操作員の確保が難しくなる。また、ここ数年は、出水期に限らず、出水期以外でもまとまった降雨などの影響により、突発的に出勤指示がでることがあり、負担増となっている。

・また総合治水対策により新たに、国府の排水機場が新設されることにより、施設の平常時の体制及び緊急時の体制を構築していく必要がある。

・国、府、市と地元が連携して治水対策に取り組んでいくことは、引き続き取り組んでいく必要がある。

VI 他部署評価

事後事業評価

事中事業評価

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>由良川増水時の災害対策として必須の事業であり、継続して実施する。</p> <p>由良川水系樋門等施設管理事業を統合し、樋門等施設を効率的に一元管理し、適正な事業実施に努める。</p> <p>予算要求額について、前年度からの増加分については統合した事業の分であり、前年度と同程度の要求である。</p> <p>令和3年度から由良川水系樋門等施設管理事業(550382)を統合。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: 由良川水系樋門等施設管理事業) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	土木施設災害復旧事業												
事業担当	所属	建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人						
会計情報	事業コード	120185	款	11 災害復旧費	項	01 土木施設災害復旧費	目	01 土木施設災害復旧費	会計	01 一般会計	決算付属資料	256	頁
施策体系	施策コード	040102		施策名	治山・治水対策を強化する								
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名	-					
根拠法令等	-												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	-												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	台風や集中豪雨等により被災を受けた、道路・河川等を緊急的に復旧することにより、市民の安心・安全な生活を確保し、市民生活の向上につなげる。								
対象者	市民	対象者数	78,000		単位あたりコスト	17.6			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者等								
事業概要 (簡条書き)	○平成30年7月豪雨、9月豪雨及び台風24号により発生した公共土木災害について、災害復旧工事を行う。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	工事請負費	1,284,283	(現年 227,225,885、繰越 1,057,056,720) 災害復旧工事						
	需用費	23,597	(現年 23,469,173、繰越 127,600) 道路及び河川等修繕、システムライセンス利用料ほか						
	役員費	13,400	災害土砂撤去業務						
	委託料	1,478	(現年 1,272,700、繰越 205,200) 公共嘱託登記業務委託、災害復旧特別単価調査ほか						
	旅費ほか	3,482	(繰越) 協議(国・府)、工場製品検査ほか						

III 予算執行状況											
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	830,000		0		0				
	② 補正予算	1,940,156	120,000		0		0				
	③ 繰越予算	△ 700,766	376,435		681,225		0				
	前年度繰越	356,893	1,057,660		681,225		0				
	次年度繰越	△ 1,057,660	△ 681,225		0		0				
小計(①~③)	1,239,390	1,326,435		681,225		0					
予算財源内訳	① 一般財源	△ 120,884	△ 36,316		73,290		0				
	② 国支出金	469,973	944,651		417,235		0				
	③ 府支出金	0	0		0		0				
	④ 地方債	890,300	418,100		190,700		0				
	⑤ その他特財	0	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 4,405	0		0		0				
	② 配当予算	1,234,984	1,326,435		0		0				
	③ 執行額	1,122,504	1,326,240		0		0				
	④ 執行率	90.9%	100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員・兼任職員)	6.75/0	5.78	/	0.00	5.78	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	54,000	46,240		46,240		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,176,504	1,372,480		46,240							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公共土木施設災害復旧費負担金(現年・繰越)	種類	災害復旧費国庫負担金	実績金額	794,988	決算付属資料	16	頁		
	特財名称	公共土木施設災害復旧費補助金	種類	災害復旧費国庫補助金	実績金額	16,687	決算付属資料	22	頁		
	特財名称	土木施設災害復旧事業(現年・繰越)	種類	災害復旧債	実績金額	408,000	決算付属資料	54	頁		

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	災害復旧工事(査定箇所)		81/81	252/252	98 / 50	/ 20	0		
			/	/	/	/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	工事件数	件	24/24	67/67	30 / 20	/ 20	0		
	単位あたりコスト		7598.92	16753.79	44208.00				
			/	/	/	/			
	単位あたりコスト								

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	集中豪雨や台風などにより、被災した箇所の復旧を迅速に行ない市民の生命や生活の安心・安全を守る。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	被災状況を速やかに把握するなかで、必要性・緊急性を考慮し、災害復旧工事を適正に実施していく。できる限り、公共災での復旧を行ない補助金を活用していく。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害復旧を行なうことにより、市民の生命や生活の安心・安全を確保するとともに、今後の被害拡大防止の観点から大変有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	自然災害により道路・河川に被害が発生した場合には必須の事業であり、被災箇所が多くある中で必要性、緊急性等を考慮しながら復旧工事を進めてきた。		
これまでの課題及び今後の方向性	近年は、線状降水帯などによる集中豪雨や、勢力の非常に強い台風などによる災害が顕著に発生しており、本市においても甚大な被害が発生している。市民の生命や生活の安心・安全を守るために被災箇所の災害復旧を迅速に実施していきたいが、平成25、26年のように被災規模が大きい場合、復旧に時間を要することになる。今後も、温暖化などにより想定を超える集中豪雨などにより、被害が甚大化することも予想され、日常の維持管理も大切になってくると考える。		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中山業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業完了のため廃止。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---